

「銀の権」

令和5年3月31日発行

学校教育目標「豊かに たくましく 学び続ける南っ子」

滝野南小学校に学ぶ子は、 1もとめる子 2つながる子 3きたえる子

令和4年度の学校評価結果と改善方策について

滝野南小学校の今年度の教育について振り返り、児童の学校生活アンケート、保護者アンケート、教職員の自己評価をもとに分析しました。設問は全部で26項目あり、それらを「自学力」「自治力」「共生力」「自立力」の4つのカテゴリーに分類して、保護者の皆様の意見をお聞きし、学校運営に反映させていこうとするものです。5段階で評価し、保護者の85%以上が「よくできている」「できている」と答えたものを○、85%未満～80%のものを△、80%未満のものを▲で表しています。家庭数が少ないため、一人が「できている」から「あまりできていない」へ移動した場合、約1%変動することになります。

また、教職員は同じ項目を職員の視点から評価し、全教職員の平均が3.5以上のものを○、3.5未満～3のものを△、3未満のものを▲で表しています。反省をもとに具体的な改善策を考え、次年度に取組を継続していきます。

【教職員評価の例】

	価値	NO	保護者 質問事項	評価	職員の視点	評価	反省と具体的改革案 (○良い点▲改善点 保△保護者の意見)
自学力	意欲	1	お子さんは、学校での学習や家庭学習において、進んで学習しようとしていますか。	3.7	◆学ぶ方法や学ぶ習慣が身につけさせられたか。	4.2	○学習意欲を喚起できるように導入を工夫した。 ○学級でその時々目標を設定すると、それに向かってがんばろうとする姿が見られた。 ▲マイチャレは宿題にするとうるが、自主的に行うという習慣は身につけていない。学級や通信で取り組んでいる内容を紹介することを続ける。 ▲穏やかな連帯は長所でもあるが、学びへの貪欲さ、積極性を引き出す指導を工夫したい。 保△進んで学習しようとしているかは、教科によるし、一

							律に判断しかねるので、あまりできていないとしました。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 学びへの貪欲さ、積極性を引き出す仕組みをつくる。 </div>
--	--	--	--	--	--	--	--

【令和4年度のアンケート結果】

<おおむね達成⇒○ やや課題とする項目⇒△ 課題とする項目⇒▲>

自学力	意欲	たくましさ	高め合い	学ぶ喜び	学習規律	活性化
保護者	▲	▲	○	○	▲	○
教師	○	○	△	○	○	○

自治力	自信	規範意識	あいさつ	挑む	連携	児童支援
保護者	○	○	△	○	○	△
教師	○	○	○	○	○	○

共生力	自尊・共尊	勤労奉仕	リーダーシップ	環境整備	連携・安全	豊かな心
保護者	○	▲	○	○	○	○
教師	○	○	○	○	○	○

自律力	あいさつ	家庭学習	ルール	ふれあい	主体性	食生活	生活リズム	言葉遣い
保護者	○	○	▲	○	△	○	○	△
教師	△	○	○	○	○	○	○	○

【分析】

保護者評価においては、今年度は、26項目中17項目で「おおむね達成」という結果になりました。評価が低い項目は、自学力の「意欲」、「たくましさ」、「学習規律」、共生力の「勤労奉仕」、自律力の「ルール」でした。本校では、少人数だからこそ育まれる自治力・共生力と、少人数ゆえに弱くなる自学力、自律力の部分が二律背反になる傾向にあります。

また、教職員評価は、25項目中24項目において、「おおむね達成」という結果が得られました。自学力の「高め合い」の評価が低いのは、子どもたちの姿から、学び合い、高め合いにおいては、まだ教師集団が求めている状態にまで達していないということと、コロナ禍で、ペア学習やグループ学習を設定する機会が減ったことが影響していると考えています。

子どもたちの様子を見てみると、詩の暗唱、ノート検定、あいさつ運動、国語科を核とした授業づくり、児童会活動の活性化などにより、学校生活や学習に対する意欲が少しずつ向上してきたと感じています。そして、意欲が向上したことにより、学習課題への取り組み方、あいさつ、行事や耐寒駆け足への取り組み方などに変化が見られるようになってきました。子どもたちは、自分で目標を据え、それに向かって努力し振り返りを行うことで、自分の成長を感じられるようになってき

ています。子どもたちが、できるようになったことは何か、まだできていないことは何かを自覚し、次の学びへつなげようとしていることを嬉しく思います。

しかし、課題も残っています。今年度の学校評価をもとにして、来年度検討、改善していく内容を、以下にまとめました。

【改善点】

1 自学力の向上（基礎学力の定着）

- 来年度も、国語科を核として、他教科、総合的な学習、特活、道徳、学校行事、地域とのふれあいに取り組んでいきます。
- 全校生で、週末に自主学習として取り組んでいるマイチャレの内容の充実を図ったり、回数を増やしたりします。まず、3学期に、5・6年生が、15時下校の水曜日にマイチャレに取り組みました。来年度は、段階的に全学年で増やしていき、家庭学習の充実を図ります。
- 宿題の内容や量、家庭学習の時間を、全学年で共通理解しました。基礎学力の定着を図り、新学年でよいスタートを切ることができるよう、全校生に春休みの課題を与えます。

2 自律力の向上（ルール・規範意識）

- 保護者から、「細かいきまりが多い」というご指摘をいただきました。そこで、生活指導委員会で、「南小のきまり」を見直しました。マナー・エチケット・社会常識に関わる項目は、きまりから削除し、子どもたちとともに考えていくことにしました。これについては、教師の共通理解事項として別の形で残します。
- 日課表についての見直し（体力健康増進・清掃活動の充実・授業時間の確保等の観点から）を行いました。来年度は、昼休みを5分長くして、外で元気に遊ぶ時間を確保します。また、掃除時間を5分長くします。

確認事項：終わりの会終了後、短時間で下校の隊形に並ぶ指導をします。

- 掃除後の手洗い、消毒、トイレなどの休憩時間を確保します。

確認事項：授業時間を45分間確保できるように、南っ子タイムに連絡帳を書いたり、配布物を配ったりして、時間を有効に使います。

3 共生力（勤労奉仕・異年齢交流・リーダーシップ）

- 掃除5分前に、環境委員会の児童が放送で呼びかけ、全校生が掃除開始と終了がわかるように、チャイムを鳴らすようにしました。もくもく掃除、時間いっぱい掃除、見つけ掃除が定着する取組を来年度も続けていきます。
- 遊びに限定せずに、縦割り班活動に掃除を取り入れます。2月に、掃除時間と南っ子タイムを使って、教室と廊下の縦割り班掃除を、3月には、外掃除の縦割り班掃除を行いました。来年度も、縦割り班活動の中に、さまざまな活動を取り入れていきます。
- 業間休みに、定期的に縦割り班での大縄練習に取り組み、3月に体育委員会主催の大縄大会を行いました。業間休みの縦割り班遊びにも取り組んでいるので、来年度は、計画的に縦割り班遊びの回数を増やしていきます。
- 学級会や代表委員会で、児童が自分たちで活発な話し合いを進めることができるように、司会の力を身につけさせていきます。3学期は、児童会役員選挙、6年生を送る会などで、教師と司会団が事前に念入りな打ち合わせをしたり、練習をしたりして、当日に臨むことができました。

【保護者の自由記述】

- 学校、学級と素晴らしい先生方やクラスメートに恵まれて、とても充実した学校生活を送らせてもらっています。のびのび成長していく子どもの姿を見ていると、とても良い環境の中でさまざまなことを勉強させていただいていると思います。
- 5年生になって班長になり、周りをよく見て行動できるようになりました。学校での出来事をたくさん話してくれるようになりました。何に喜び、何を頑張っているのか、よくわかります。
- 学校の行事に楽しく取り組むことができます。日頃の様子もよく話してくれるので、成長しているなあと思いながら楽しい会話ができます。朝も「いってきます」と大きい声で言ってくれるので嬉しです。
- 高め合い、子どもたちは困っている子を1人にしておらずに、何事にも一緒に考え寄り添い、不安にさせないようにして、共に成長できていると思います。
- アンケートにあげられている項目内容を日々意識して教育してくださっていることに感謝しています。先生方が熱心な様子と、そういったモデルとなる大人が近くにいることで、子どもたちも良い刺激を受け、学校生活が充実したものになっているのだと感じます。家庭でも、この項目を意識しながら生活していくことに努めたいです。
- 子どもたちには大きな声で挨拶をすること、自分よりも小さい子や弱い子に優しくする、何事にも一生懸命にということ大切に、伝えていきます。学習習慣については、声かけもしていますが、友達と遊ぶこと、公園に行くことが今一番楽しいことのように、本人たちには、優先順位が高いように見受けられますが、それも今の年代には大事なことも思われますので、見守っています。食事についても気をつけていますが、給食がおいしいと日々報告してくれ、やや丸みを帯びているシルエットが最近の両親の心配事です。
- 毎月の詩を覚えるという目標がとてもいいなと思っています。一生懸命覚えて、校長先生に聞いてもらうのを子どもたちはとても楽しみにしています。達成感も味わえてとてもいいことだなあと思います。朝に用事があり、学校へ行ったときが朝の歌の時間で、教室から全校生の歌声が外に聞こえてきて、とても温かい気持ちになりました。コロナ禍で今までは静かに学校生活を送っていたのが、少しずつ歌声や笑い声が聞こえるようになってきて、子どもたちが楽しく過ごしているのが伝わってきて、うれしいです。
- コロナ禍で、今まで当たり前を経験できていたことが思うようにできないことも多い中、いろいろな工夫をしてくださり、子どもたちにたくさんの経験をさせてくださっていること、とても感謝しています。これからもたくさんの仲間と一緒に、いろいろな経験を通して学びを増やしていってほしいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
- 新たな取り組みを受け入れていただける教育現場であると感じています。引き続き公民連携をよろしくお願いいたします。
- どれもきちんと教育していただいているのですが、特に挨拶は素晴らしいと思います。小学校でしっかり教えていただいているので、中学生、高校生になってもできている子が多いと思います。
- 詩の暗唱はとてもいいと思います。毎月新しい詩を簡単に覚えてしまうので驚いています。以前より何に対しても、やる気のようなものが感じられます。子どもたちと一対一で向きあってください、ありがとうございます。
- 昨年までは思わなかったのですが、今年から、運動会や音楽会等の行事で、前に出て話をする時の話し方がとてもきはきとしていて聞き取りやすく、感心しています。特に高学年が素晴らしいです。行事毎に、高学年のリーダーシップを感じます。

【保護者の意見に対する回答】

○配布物について

兄弟がいるのに学校便りや給食便りなど、それぞれがもらってくるので、家庭数で出してほしいです。

回答:検討して、対応します。

○交通立ち番について

2回旗当番をして、福田橋がなくなり、播州農機の横断歩道の旗当番がいらぬほど車の数が減っているように思いました。河高一班がされているところとマミー前の当番のところを一緒に混ぜて旗当番するのはどうかと思い、一度検討していただけたらと思います。

回答:子どもの安全を第一に考え、立ち番は現行のままで継続します。

○登校班について

河高2班がチハラ団地のところと二つあるのですが、来年度、6年生の女の子の長谷川さんが一人だけ男の子に混じって登校班にするのはどうかと思ひまして、登校班の見直しを一度していただけたらと思ひます。よろしくお願ひします。

回答:該当地区の子どもたちや保護者と話し合つた結果、現行のままで継続します。

○PTA 活動について

PTA 活動(役員業務)が多すぎるように思ふ。役員負担が多く、役員になるのが不安である。大切な行事なども多いので、役員の助けが必要な部分も、もちろん多いとは思ふが、本当に必要な事をもう一度精査してほしい。(役員会議や、長時間にわたる PTA 総会など、縮小できるものがないか)

回答:家庭数減少に伴い、役員数の削減、業務の精選を行った。臨時総会(書面決議)を実施し、来年度は学級委員定数を減らし、ふれあい部をなくす決定をした。

○学校オープンについて

平日ではなく、全て土曜日に行つてほしい。子どもの学習や生活の様子が観たいが、平日だと仕事の都合がつかず、参加できない。

回答:土曜日に休みが取れない保護者もあります。また、子どもの疲労度や集中力を考えると、土曜日まで引張らずに、平日に実施する時があつてもいいと思ひています。また、毎回土曜日にすると、社会体育や習い事の関係で、欠席する児童もあります。来年度も、3回の学校オープンのうち、2回は土曜日、1回は水曜日に行う予定です。

○学校オープンで、詩の群読をする必要があるのか。普通の授業が観たいです。

回答:子どもたちは、一生懸命、詩の暗唱に取り組んでいるので、発表の場を与え、さらに意欲を高めたいと考えています。群読も大切な学習の場と捉えています。

○マラソン大会で保護者の表彰は必要ないのではないか。それよりも、子どもたちを表彰してやってほしい。

回答:来年度は、走っていただいた保護者の皆様や子どもたちへの表彰のしかたを改善します。マラソン大会当日だけではなく、毎日休まず耐寒駆け足に取り組んだ子どもたちへの表彰も考えます。